

これまで偶然同じUP州で遠隔医療の検討をしていた関係で、いつも気になっていたのがこのアーナンダ病院です。それまではUP州の他の公立病院しか訪問したことがなかったのですが、2011年になってから年次総会参加を機に柴田先生、大竹様、加藤様に相談に乗って頂き、8月に初めてアーナンダ病院を訪れることができました。私の研究はICTを使って患者の健診データを農村部から都市部の病院に伝送して次の処置の指示をもらうというものでした。アーナンダ病院の場合、グプタ医師が孤軍奮闘している状態なので先生の仕事を中断させることのないようにデータをコンピューター送り、時間のある時に健診データを見て血圧などの変化が察知して診察が必要な患者を探し出すような仕組みにすることをグプタ医師と話し合っただけで決めました。今回、健診データ計測の仕組みをスタッフミーティングで説明できたことはひとつの成果でした。今年中には未完成の伝送部分を完成させてもう一度アーナンダ病院に戻りたいと思っています。今回特に大竹先生には訪問前と現地で大変お世話になりました。今後ともクシナガルの人たちの健康を向上させることに貢献して行きたいと思っております。